

反復こそ向上の秘訣

ところが、せっかく子供が能力向上の秘訣である、“繰り返しを好む性格”を持っているのに、これを打ちこわしている親が多いのです。つまり、子供の要求を「しつこい」と言ってたしなめることです。だから、子供の方も、同じことを反復することはいけないことだ、と思うようになり、反復したい気持ちをおさえ、やがて何事でも反復することをしない子供になってしまうのです。

何事であろうと、能力向上には反復練習が最も必要なことで、それは成功のためには絶対に欠くことのできないものです。世の中で成功している人は、すべて“しつこい”ほど一つのことを反復追求した人であることは、どなたもお認めのはずです。

そこで私も、しつこいことを承知で繰り返して言います。子供はだれでも生まれつき能力向上の要素である“しつこい”性格を持っているのです。これを一生持ち続けられるよう、親たるものは、これを見守ってやるのが大切です。かりにも「いつまで同じことを繰り返せば気がすむの」などと言って、子供の大事な宝を傷つけないでほしいと思

ます。

私は“幼児は皆神童だ”と思っています。その神童が“二十過ぎればただの人”になってしまうのは、親を始め周囲の人たちが、子供の持つ“成功の秘訣”である反復を好む性格を傷つけるからだ、と思っています。これが世に『十で神童、十五で才子、二十過ぎればただの人』と言われる理由だと、私は信じております。